

■各部会の取組状況について（令和7年度）

■ 高次脳機能障がい相談支援体制連携調整部会

＜部会等の検討テーマ／令和7年度中の到達目標＞

高次脳機能障がいのある方が地域で安心して暮らし続けられるよう、各支援機関のネットワークを構築することを目標とする。また、子どもの高次脳機能障がいの普及啓発の取組についても議論を行う。

令和7年度の開催実績及び検討内容

【第1回 令和7年9月18日 開催】

＜議題＞

- ・地域支援ネットワークの再構築について
- ・高次脳機能障がいの理解促進に向けた普及啓発について
- ・子どもの高次脳機能障がいについて

○検討内容

- ・地域支援ネットワークの再構築のため、令和6年度実施の三島圏域の活動報告や各圏域の活動状況について
- ・高次脳機能障がいの普及啓発イベントや今後の取組について
- ・子どもの高次脳機能障がいのサポートブックについての作成報告について
- ・法制化に対応した取組について

○主な委員の意見

- ・大阪府から市町村に対して、普及啓発ツールを貸し出してほしい。

【第2回 令和8年3月26日 開催】

＜議題＞

- ・地域支援ネットワークの再構築について
- ・高次脳機能障がいの理解促進に向けた取組について
- ・子どもの高次脳機能障がいについて
- ・法制化への対応

○検討内容

- ・前年度実施の各圏域の活動状況について、今年度再構築予定の南河内圏域での調整状況について
- ・高次脳機能障がいの普及啓発イベントや今後の取り組みについて
- ・子どもの高次脳機能障がいの普及啓発セミナー等の取組について
- ・法制化に対応した取組について

○主な委員の意見

- ・回復期リハビリテーション病院に対し、地域支援ネットワークの活用を周知し、府民への情報提供を促していくべき。

令和7年度の検討結果

- ・各圏域において、関係機関を集めての実践研修の開催など、地域支援ネットワークの再構築に向けての取組が進んだ。
- ・高次脳機能障がいの理解促進のため、啓発動画の作成やイベントの開催や万博でのPRなどの普及啓発を行った。
- ・こどもの高次脳機能障がい啓発チラシの作成、配布や、オンラインセミナーを開催して理解促進に努めた。

次年度の検討項目（予定）

- ・地域支援ネットワークの圏域間の連携について
- ・高次脳機能障がいの理解促進に向けた取組について
- ・子どもの高次脳機能障がいについて
- ・法制化への対応

■ 就労支援部会（工賃向上委員会含む） ＜部会等の検討テーマ／令和7年度中の到達目標＞ 【テーマ】就労支援、関係機関のネットワーク充実、工賃向上支援 【到達目標】・障がい者の就労支援施策や関係機関のネットワークの充実について審議することで、第5次障がい者計画の最重点施策である「障がい者の就労支援の強化」を推進するとともに、第6次障がい者計画の策定に向けて、課題等について意見聴取を行う。 ・福祉施設で働く障がい者の工賃向上を図る。	
令和7年度の開催実績及び検討内容 ■ 就労支援部会 【第1回 令和7年8月26日 開催】 ○ 検討内容 ・第7期大阪府障がい福祉計画における成果指標及び活動指標達成状況 ・就労移行等連携調整事業、第6次大阪府障がい者計画策定 ○ 主な委員の意見 ・本人が働こうと思える教育環境づくりが必要。一方で、無理して働き続けず、安心して職場を辞められる選択をできる社会であってほしい。 ・障がい種別ごとに就労のめざすべき姿は違ってくる。 ・就労選択支援事業は、理念が重要。選択支援の指定を取った事業所が安易に特定の事業所に誘導することなく、本人の希望が叶うようにすべき。 ・大阪で就労継続支援 B 型事業所が急増するのに伴い、良くない事業所も増えてきていると聞く。／在宅就労が増加しているが、在宅就労のアセスメントをするには、非常にスキルが必要。 ・重度障がいの人が働くことができる事業を使って、働く枠組みを広げることや、短時間雇用の好事例も踏まえて、さまざまな就労形態で働けることを次期計画で打ち出して欲しい。 【第2回 令和8年3月27日 開催】 ○ 検討内容 ・次年度以降の取組み、第6次大阪府障がい者計画について ○ 主な委員の意見 ・就労選択支援の理念の実現に向けて、学校と福祉の密な連携が必要。 ・進路指導担当者と福祉領域との連携にあたり、学校側にアドバイザーを配置するなど、教員への助言体制を検討できないか。 ・在宅就労の必要性や支給決定をどう担保するかが重要で、府が主導して市町村の支給決定状況を把握し、適正な手段・方策を講じるべき。 ・不適切事案をキャッチ・防止する通報等の仕組みが必要ではないか。	■ 工賃向上計画の推進に関する専門委員会 【第1回 令和7年8月27日 開催】 ○ 検討内容 ・大阪府工賃向上計画（令和6～8年度）の取組状況 ・就労継続支援優良取組表彰 令和7年度実施概要 ○ 主な委員の意見 ・工賃額は目標達成、優先調達実績も過去最高であるが、さらなる工賃向上に向けては、単価交渉なども必要となる。請負営業研修等により事業所の意識啓発をするとともに、発注者側の企業に対しても意識改革を促し、発注促進に向けて取り組んでほしい。 ・表彰は、国の情報公表制度を遵守している事業所を選定することとする。表彰のメリットについて事業所に伝わるように広報に取り組んでほしい。 【第2回 令和7年12月8日 開催】 ○ 検討内容 ・令和7年度大阪府就労継続支援優良取組表彰の選定について ○ 主な委員の意見 ・工賃向上及び就労支援に長年取り組んでいる1事業所を対象として選定。 ・好事例取組をしっかりと広めるように取り組んでほしい。 ・惜しくも選外の事業所にも今後の期待を伝え、次につなげてほしい。 【第3回 令和8年3月24日 開催】 ○ 検討内容 ・大阪府工賃向上計画（令和6～8年度）の取組状況、実施計画について ○ 主な委員の意見 ・販路開拓は容易ではないが、課題を整理してもらっただけでも事業所にとって有意義であり、素晴らしい取組みである。 ・共同受注の発注企業比率が2割なのは工夫の余地がある。実際の現場や作業を見てもらうとアピールになる。治具の活用やレイアウト変更等で生産性を上げている特例子会社の取組みを、事業所にも活用・連携できないか。 ・障がい者が使いやすい治具は健常者も使いやすく、互いにメリットがある。 ・アンテナショップ出店審査では、就労支援の質を重視すべき。
令和7年度の検討結果 ■ 就労支援部会 ・第7期大阪府障がい福祉計画に掲げる一般就労への移行者数の増加等の実現に向けて課題や取組みに対してお意見をいただくとともに、第6次大阪府障がい者計画策定に向けた検討を行った。 ■ 工賃向上計画の推進に関する専門委員会 ・就労継続支援優良取組表彰制度の見直しを審議し、従来の工賃向上や就労支援の取組のほか長期継続支援や重度障がい者支援なども評価する制度に改め、応募があった中から1事業所を選定した。	次年度の検討項目（予定） ■ 就労支援部会 ・第7期大阪府障がい福祉計画における成果指標及び活動指標達成状況について ・就労移行等連携調整事業の進捗状況について（R7・R8） ■ 工賃向上計画の推進に関する専門委員会 ・大阪府工賃向上計画（R6～8）の取組状況 ・大阪府工賃向上計画（R9～11）の検討 ・令和8年度就労継続支援優良取組表彰の募集・選定